

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、「3 サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 48 20 | コロナウイルス感染拡大防止の為、外出する機会が殆どなく、地域密着型であるがなかなか地域資源を活用することができていない。馴染みの人や場所との関係も継続することが難しい。 | 感染症対策を実施し制限内でのドライブや散歩などを行い気分転換を図ることができる。ご家族様や知人、馴染みの場所へのつながりを大切にして生活を送ることができる。 | ①季節の行事の企画・実施 ②個別に馴染みの場所への外出(ドライブ)する機会を設ける。 ③ご家族様には来所時や電話、広報誌などを利用しこまめに情報共有を行なっていく。 ④オンライン面会の周知、その他動画での情報共有などの工夫を検討していく。 ⑤雑巾を作成し、地区の保育園、公民館等に寄付する。 | 12ヶ月 |
| 2 | 18 | 理念でもある「できた喜びをお互いに感じ笑い声あふれる我が家」を忘れず、個々の残存機能を活かして入居者様、職員が共に協力しあえる関係を作っていく必要がある。コロナウイルス感染症拡大防止のため外出できないことから下肢筋力の低下や認知症の進行が考えられる。 | 入居者様・職員と一緒に楽しみ、寄り添い、笑顔多く過ごすことができる。 | ①理念を毎月のスタッフ会議で読み上げ周知する。 ②行事レク活動の充実を図り入居者様、職員が楽しんでできるように一緒に企画なども行っていく。(季節に合った郷土料理・お菓子作り・畑の活用・壁画作り・個々の趣味活動継続等) ③リハビリ体操や軽体操などその方に合ったものを準備し下肢筋力の低下を予防していく。 ④職員間でこまめに情報共有を行なっていく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 13 33 | 入居者様の状態は様々で急な体調の変化や新型コロナウイルスなどの感染症に職員が適切に対応できるように準備しておく必要がある。 | 職員間の情報共有や意見交換を大切にし、職員一人ひとりが適切に対応できるようスキルアップできる。 | ①スタッフ会議、ユニット会議を活用し、情報共有を行い入居者様の状態を把握して統一したケアを行っていく。不安なことなど面談を活用していく。 ②学習会や訓練、研修(所内・所内)を通して学びを深める。 ③業務やマニュアルの点検・見直しを行う。(年1回/必要あれば随時) ④備蓄品などの準備・整理整頓を行っていく。 | 12ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい